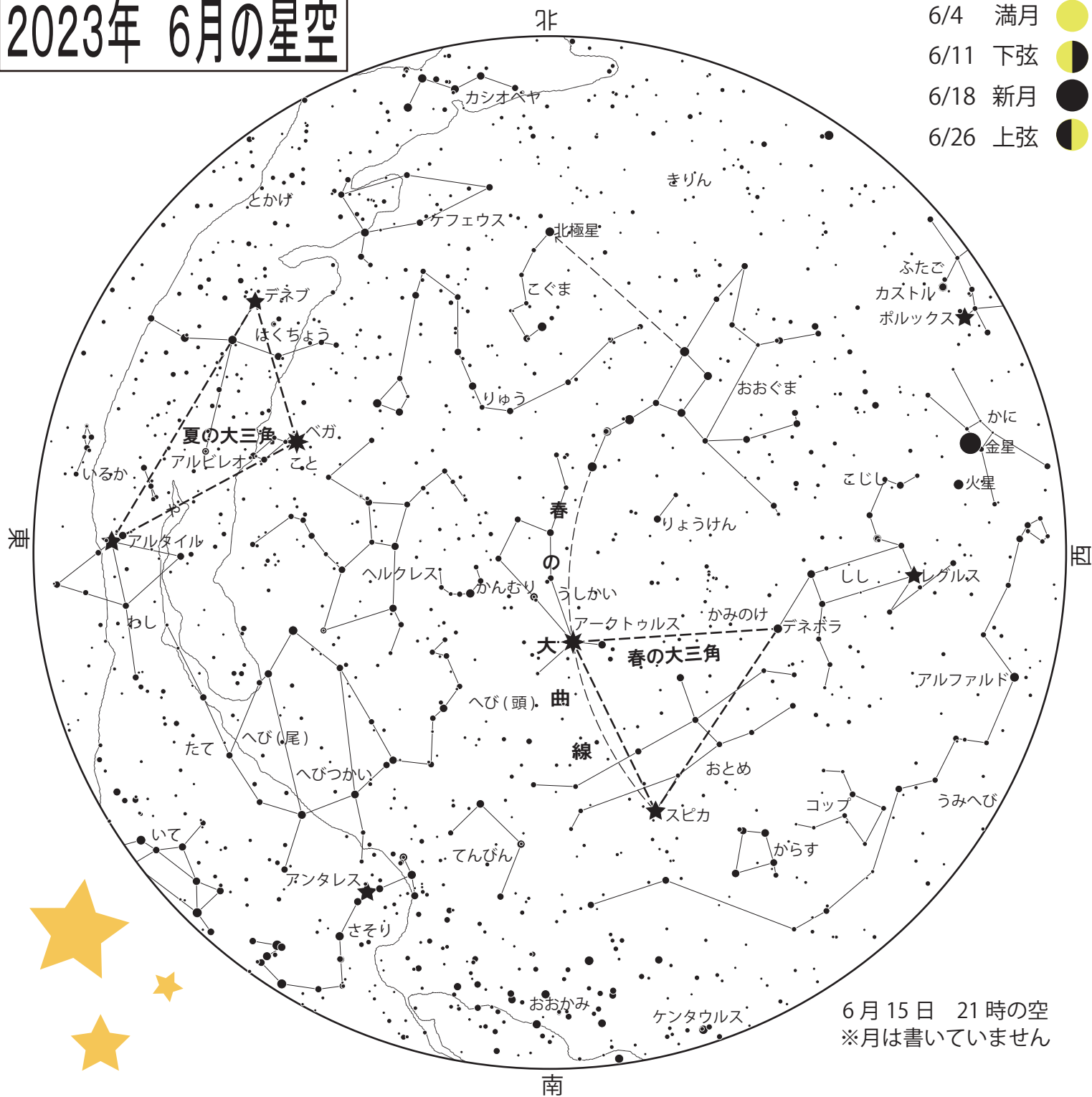


# 姫路で見る 2023年 6月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 6/4 満月 
- 6/11 下弦 
- 6/18 新月 
- 6/26 上弦 



6月15日 21時の空  
※月は書いていません

空の西半分には春の星座、東半分には夏の星座が見えています。北西の空にはひしゃくの形の星の並び「北斗七星」があり、春の星座探しのよい目印です。ひしゃくの器の先からは北の空の目印・北極星が見つかります。ひしゃくの持ち手をずっと伸ばしていくと、オレンジ色をしたうしかい座の**アークトゥルス**、ほんのり青白いおとめ座の**スピカ**につながる「**春の大曲線**」です。アークトゥルスとスピカ、しし座のしっぽの星**デネボラ**とを結んであげると「**春の大三角**」も作ることができます。

東の空には「**夏の大三角**」が見えるようになりました。こと座の**ベガ**は七夕の物語に出てくる織姫星、わし座の**アルタイル**は彦星です。二人の間には天の川が流れていて、その上を**はくちょう**が飛んでいます。

西の空では宵の明星・**金星**がよく目立ちます。金星と近い位置に見える**火星**はそろそろ見納めの時期です。